

人権参観日・人権コンサート!!

11月8日(土)に開催しました人権参観日にはお忙しい中、たくさんの保護者にご来校いただきありがとうございました。今年度は学校教育目標を「人を大切に～聴く・全力・感謝～」と設定し、全校生徒で学校生活をよりよくするために取り組んでいます。一年生は、「ちがいのちがい」を学習し、一人一人が「あっていいちがい」、「あってはいけないちがい」について、真剣に考えを深めました。二年生は「家族の協力について考えよう」というテーマで、自分たちの一番身近な存在の家族について、普段の生活ではじっくり考えないようなことも一人一人が考え、より大切な存在に気付いたのではないのでしょうか。三年生は人権擁護委員さんを講師にお迎えして、「デートDV」についての授業をしていただきました。内容的には「DVは暴力であり、犯罪行為を含む重大な人権侵害であること」、「パートナーとよりよい関係を作ること」をみんなに理解してもらえるようなお話だったと思います。特に三年生は中学校を卒業したら、今よりも人間関係が広がっていきます。いろんな人とこれから会うことだと思います。その時に今回学習したことを思い出して、困ったことがあれば悩まず相談することを忘れないでください。人を大切に、相手のことを思いやる気持ちを持った大月中学校の生徒であってほしいと思います。参観授業の後、小学校の体育館へ移動して、堀内佳さんの人権コンサートがありました。堀内さんは1歳の時に先天性の病気(目の癌)にかかり両眼球を摘出し、全盲になり、高知盲学校中学部の頃に、音だけを頼りに独学でギターを弾き始めて今に至っているということです。大変な苦労があったことだと思いますが、素晴らしいお話と、歌声を会場の人々に届けてくれました。ありがとうございました。



【生徒の感想より】

- 堀内佳さんのコンサートを聴いてみて、目の前に何があるかもわからない状況で、笑顔で歌をうたい、人を笑顔にしている、そんな堀内さんがすごいなと思いました。堀内さんの歌もすごく心に響いたし、自分が今幸せに生きるためにどうすればいいのかがわかったような気がします。人はどんなところからでも変わりたいという思いが強ければ変わるということを改めて感じられるコンサートでした。私もあきらめたい、もう無理かもしれない、そんな気持ちになっても前向きに生きていきたいです。
- 大変な人がたくさんいるから、自分が感じているあたりまえは幸せなことなんだなあと感じました。私は障害を持った人が身近にいたら、手助けして特別扱いせず接したいと思いました。
- 私は堀内さんのコンサートの内容で、堀内さんは目が見えてないことからいじめられていたことを知って、でも強く自分らしく生きていて、すごいなあとと思いました。笑顔で人は救われるということも分かったので、笑顔は大切にしたいです。
- 目が見えないということを知って、正直つらいと思ったし、楽しいと思えることはあるのかなと思っていただけ、堀内さんのコンサートを見て、すごく楽しそうだったし、明るい人だなと感じました。そこから、目が見えないからと言って大変なことはあるかもしれないけれど、不幸せなんてことは全くなく、自分自身を好きでいる堀内さんにこっちも元気をもらえました。